

潤いある未来へ

2024.8.10

水未来会議2024

コメンテーター自己紹介

株式会社 日水コン

インフラマネジメント本部 国内インキュベーション事業部 国内事業戦略部 瀬川

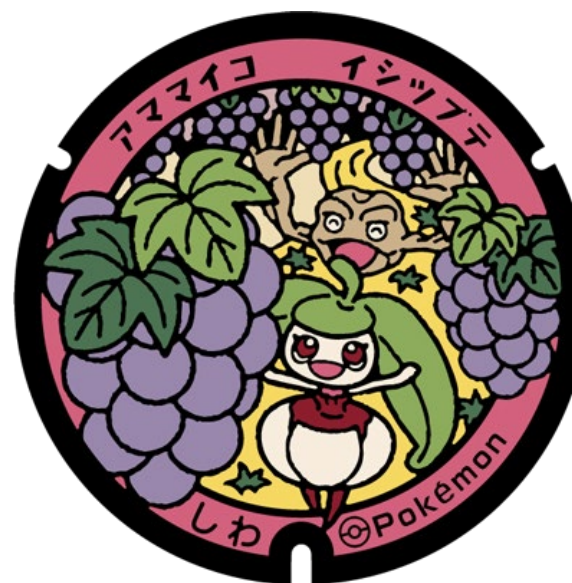
生まれも育ちも岩手県

- 岩手県 紫波町
- 岩手大学 工学部 卒業
- 岩手大学 大学院 社会環境工学専攻 修了
- 研究内容：地下水中のヒ素の簡易除去リアクター開発に関する研究



▲ 紫波町の仕切弁
(銭形平次の投げ銭 風)

出典：一般社団法人紫波町観光交流協会



▲ 紫波町のポケふた (下水マンホール)
@紫波町紫波中央駅前1丁目

出典：いわての旅 (岩手県観光ポータルサイト)

仕事は官側コンサルティング、時々プレイヤー

業 務 経 歴

- 2015年4月 株式会社日水コン入社（当時 大阪水道部 配属）
- 2021年4月 国内事業戦略部に異動
- 2023年6月 一般財団法人水・地域イノベーション財団選考委員 就任

実 務 経 験

- **水道事業**
 - ・ 計画系業務（施設整備計画策定、住民参加型審議会の企画運営 等）
 - ・ 設計系業務（劣化調査・耐震補強設計、施設更新設計 等）
- **地域振興・再エネ関連事業**
 - ・ まちづくりプラットフォーム形成支援事業
 - ・ 小水力発電事業の立ち上げ（弊社初の発電事業者プレイヤー案件）
 - ・ 遊休公的不動産への再エネ設備導入可能性調査・官民連携手法の検討

新人の頃の思想、「住民を水道業界の仲間にしたいたい」

新人時代の趣味

平成29年10月5日
60期水道事業部技術研修会

水コンサルと水環境教育 の関わりについて

～持続可能な社会の創造を目指して～

大阪水道部 技術第三課 瀬川

1

実際の様子

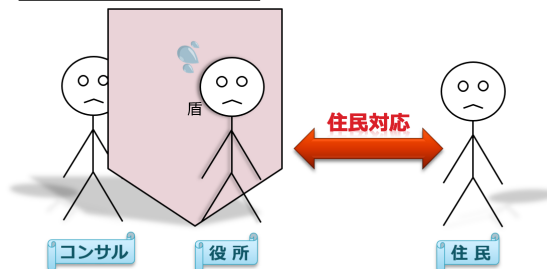


水循環を考えるアクティビティ「驚異の旅」



4. 今後の展望

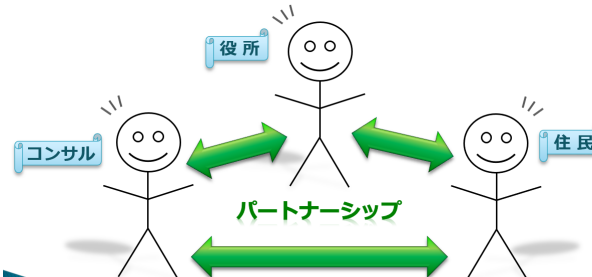
現状（勝手な風刺画）



21

4. 今後の展望

こういう形があってもいいのでは



22

住民参加型の水道事業

目的

なに？

アクティビティ

どれ？

対象

だれ？

持続可能な水道事業経営のために住民や地域の理解協力(ボトムアップ)は重要

住民、ユース世代と接する機会がかなり増えた（有言実行？）

- 2019年 仁川学院中学アカデミア探求 出前講座の講師(関水コン※1)
- 2020年 早稲田大学商学部向け水ビジネス寄附講座支援
- 2021年 木更津工業高専生と下水道に関するワークショップ(GKP※2)
- 2022年 住民参加型 まちづくりに関するシンポジウムの企画運営
- 2023年 信州大学生とウォーターPPPに関する意見交換会(GKP※2)
- 2024年 住民参加型 水道事業経営に関する審議会の企画運営 など

※1 関水コン：全国上下水道コンサルタント協会 関西支部

※2 GKP：日本下水道協会の理念に基づいた下水道広報プラットフォーム



仁川学院中学アカデミア探求 出前講座



住民参加型 まちづくりに関するシンポジウム



住民参加型 水道事業経営に関する審議会

➡ 部署を異動し、住民や地域に近い立場で仕事できる機会が増え、リアルを知る 5

ユースの皆さんへメッセージ

- 日本は将来の世界問題の象徴。換言すれば、ヒストリー（人口増）とストーリー（少子高齢/人口減）の宝庫と言える。
- 水インフラは人々の安全・安心・命に欠かせない、地域のインフラ。
- 水インフラは水・汚泥・エネルギーの物質循環システム。
- 地域の自給率向上のため、「水インフラ」に着目する意義は大きい。

◆ 日本の市町村の数は1,718（2024.8.10現在）

1,718パターンの

「水ビジネス × イノベーション」モデルを構築できる可能性を有する。

水循環を土台とした、ローカルなビジネス×イノベーションこそが、世界の未来を救う。

その主役は、日本にある。

ご清聴ありがとうございました。